

## 北九州市立医療センター

研修医 香月 比加留 2016年6月

北九州市立医療センター初期研修医2年目の香月比加留です。2016年6月に地域医療研修として出水市で研修させていただきました。

前半の2週間は野田診療所、高尾野診療所、上場診療所、出水保健センターで研修させていただき、後半の2週間は出水総合医療センターで研修させていただきました。

各診療所では、上部・下部消化管内視鏡検査や腹部エコー、心エコーなどの検査、外来および往診による慢性疾患のフォローを経験しました。検査オーダーを出すだけになっていた検査を下手なりに自分で出来るようになったのは、良い経験でした。また、一次産業ならではの外傷を診る機会もあり、大変勉強になりました。往診では、正直自分の運転では行きたくないような場所へ行き、慢性疾患のフォローアップ中心に診察しました。終末期の患者のご家族に対し「ここで急変した場合、おそらく救急車も間に合わない」といったインフォームド・コンセントをされていたことは印象的でした。改めて、病院へ簡単にアクセスできる環境は恵まれているのだと実感しました。また、高齢の方も多く、診療所の往診は地域の医療を支えている為に必要不可欠だと思えました。

出水保健センターでは、母子健康相談や3歳児健診を経験させていただきました。多くの方が、思っていた以上に悩みを抱えていることを知りました。現場の方々はうまく悩みを聞き出し、適切なアドバイスをしており、育児で悩みを抱えている母親にとって、大変重要な役割を果たしている場所だと思いました。また、健常な3歳児だけをまとめて診るというのも、面白い経験でした。

出水総合医療センターでは、外科を中心に研修させていただきました。様々な手術に参加させていただき、大変勉強になりました。今後の外科研修で違いを実感したいと思います。その他にも地域医療連携室、臨床工学科、臨床検査科、回復期病棟、リハビリテーション技術科で研修させていただきました。オーダーした検査の結果が出るまでの流れを改めて知り、また医師とは違う視点で患者をみることができ、貴重な経験となりました。より良い医療を提供するためには多職種での連携が重要であることを再認識できました。

最後になりましたが、ご多忙の中ご指導いただいた先生方や関係者の皆様、診察させていただいた患者の皆様、本当にありがとうございました。1ヶ月と短い期間ではありましたが、地域に根付いた医療の重要性とその実現の難しさを実感できた貴重な時間となりました。この地で経験したことや学んだことを無駄にならないように、今後も勉強していきたいと思えます。